

Carrozza SERIES

事務用回転椅子
取扱説明書



このたびはオカムラ製品をお買い求めいただきありがとうございます。
品質には万全を期していますが、正しくお使いいただくため、
使用前にこの説明書をよくお読みください。
その後は座裏の取扱説明書収納ポケットに
大切に保管してください。



安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

絵表示について
この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- 乱暴な取扱いや用途以外のご使用は避けてください。
荷物をのせて台車がわりにしますと、転倒等による事故や荷物の落下による危険性があります。またイスの上で立ち上がった時、座面の前縁部や肘に腰掛けたりしないでください。転倒してケガをする恐れがあります。
- 分解・修理
特に、座の昇降装置（ガススプリング）には高圧ガスが封入されており、異常を発見された場合、お客様での分解、修理等は大変危険ですので、必ず弊社販売窓口にご連絡ください。
- 改造についての注意
お客様での改造は、安全上問題となることがありますので事前に弊社販売窓口にご相談ください。了解のない改造に必要な安全の配慮はすべてご自分の責任でお考えください。
- 座裏のリクライニング可動部のスキマには指や手をはさまれないようにご注意ください。

- Pタイルの床には
タイルの床では、双輪キャスターは滑りすぎて転倒する恐れがありますので、ゴムキャスターをご使用ください。双輪キャスターはじゅうたん・カーペット等の床に適しています。
- アジャストアーム使用上の注意
アジャストアームの位置調節を行う場合には、可動部のスキマに指や手、衣服などはさまれないようにご注意ください。
また肘が確実に固定されていることを確認してからご使用ください。

適切な換気の励行に 関するお願い

- 購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は、換気や通風を十分行うようにしてください。
- 室内が著しく高温多湿となる場合(温度28℃、相対湿度50%超が目安)には、窓を閉め切らないようにしてください。

適用製品一覧

グレイシェ尔	双輪	CK95GR	CK45GR	CK35GR	CK93GR	CK43GR	CK33GR	CK96GR	CK46GR	CK36GR	CK94GR	CK44GR	CK34GR
	ゴム	CK95CR	CK45CR	CK35CR	CK93CR	CK43CR	CK33CR	CK96CR	CK46CR	CK36CR	CK94CR	CK44CR	CK34CR
ブラックシェ尔	双輪	CK95ZR	CK45ZR	CK35ZR	CK93ZR	CK43ZR	CK33ZR	CK96ZR	CK46ZR	CK36ZR	CK94ZR	CK44ZR	CK34ZR
	ゴム	CK95JR	CK45JR	CK35JR	CK93JR	CK43JR	CK33JR	CK96JR	CK46JR	CK36JR	CK94JR	CK44JR	CK34JR

操作方法

リクライニングの固定 / 解除

背座のリクライニングは背右下側のレバー操作で調整できます。
レバー位置が下 の状態の時は背座リクライニングを任意の位置で固定されます。レバー位置が上 の状態の時は背座リクライニングはフリーになります。

リクライニングの強弱調節

座の右下の調整ハンドルを右に回すとリクライニングの際の背当て反発力が強くなり、左に回すと弱くなります。座る人の体格や好みにあわせて調整してください。

アジャストアームの上下調節(CK9□□□タイプ)

肘本体または肘パッド部分を持ち上げることで20mmピッチ6段階の範囲で調節できます。最上段まで持ち上げると一番低い状態に戻せます。

調節後は確実に固定されているかを確かめてからご使用ください。

■各部の名称と機能

アジャストアームのパッドの位置調節(CK9□□□タイプ)

肘パッドを持ち左右に回転させることで、角度の調節ができます。

座の上下調節

座の上下はガススプリングですから、座の左下のレバー操作でワンタッチで調節できます。体重をかけた状態でレバーを上 に引けば座は下がり、レバーを離せば任意の位置で固定されます。座をあげるときは、レバーを上 に引いて腰を軽く浮かせた状態で行ってください。

ハンガーの上下調節(CK□4タイプ、CK□6タイプ)

ハンガーのフレーム部左右を持ち、上下に調整します。使用時は上の状態でお使いください。使わない場合は、背と同じ高さまで下げることができます。

ハンガーの用途以外の使用は破損する恐れがあり危険ですのでお止めくださいますようお願いいたします。特にハンガー部を持ってイスを移動させることはお止めください。

末永くお使いいただくためのお願い

●屋内でのご使用をお願いします。

●屋外や水のかかるところ等では使用しないでください。

●直射日光およびストーブの熱は、商品の変色・変形のもととなりますので避けてください。

●使用中にボルトやネジの緩みによるガタツキが生じた時は、増し締めしていただくのが長持ちさせる秘訣です。必ず早めの増し締めをしてください。

●この説明書をいつでも取り出せるよう大切に保管してください。

●樹脂部のお手入れ

日常のお手入れは硬く絞ったやわらかい布などで、こまめに拭いてください。著しく汚れた場合は、うすめた中性洗剤で拭き取り洗剤が残らないように水拭きした後、乾いたやわらかい布で空拭きしてください。

●布・クッション部のお手入れ

布部を手ではいた後、電気掃除機でほこりを吸い取ってください。また、クッション部はクリーニングできませんので、著しく汚れた場合は新しいクッション部と交換することをお勧めします。

「故障かな?」と思う前にご確認ください。

不調内容	確認事項	処理方法	参照ページ
座が上がらない	座に体重を掛けたままだ操作していませんか?	腰を浮かせた状態で操作してください。	裏面
	座の位置が一番上の状態になっていませんか?	上限以下の高さでご使用ください。	〃
座が下がらない	座の前方に腰掛けた状態で操作していませんか?	座の中央部分に体重を掛け操作してください。	〃
	座の位置が一番下の状態になっていませんか?	下限以上の高さでご使用ください。	〃
背が動かない	背右側下部のレバーが固定状態に設定されていませんか?	レバーを上にあげて、背当に寄りかかってください。	〃
	座裏のリクライニング強弱調節ダイヤルが強(前方向+)の状態)になっていませんか?	座裏のリクライニング強弱調節ダイヤルを後方向-に回すことにより調節してください。	〃

部品交換方法Carrozzaシリーズは、破損又は経時により消耗した部品をお客様が家庭用工具で簡単に交換できる構造になっています。交換可能な部品(有料)のご用命は下記お客様サービスセンターへご連絡ください。

【部品交換時の注意事項】

1)作業は必ず2名で行ない、作業時は軍手などの手袋を着用してください。

2)プラスドライバーをご使用ください。

3)作業終了後は、ビスの締め忘れ、ガタツキがないか確認してください。

クッションの交換方法

■背クッションの交換方法

1)背クッションのはずし方

背シェル、背クッションの順に取りはずします。

背シェル 下のビス(2本)をプラスドライバー(No.2)でゆるめ取り外してください。

背シェル 下部を上方に回転させるように引きあげ、4箇所のカッチを外します。

背シェル を上方に持ち上げ、上部4箇所引っ掛けから外します。

背管フレーム のビス(4本)をプラスドライバー(No.3)でゆるめ取り外し、背クッション をはずします。

2)背クッションの取り付け方

はずし方の逆の手順で、背クッション、背シェル の順に取り付けます。

*確実に固定されているかを確かめてください。

■座クッションの交換方法

1)座クッションのはずし方

座フレーム、座シェル、の順に取りはずします。

座フレーム のビス(4本)をプラスドライバー(No.3)でゆるめ取り外してください。(図1)

座シェル のビス(4本)をプラスドライバー(No.2)でゆるめ取り外してください。(図2)

2)座クッションの取り付け方

はずし方の逆の手順で、座シェル、座フレーム の順に取り付けます。

*確実に固定されているかを確かめてください。

固定肘の取付交換方法

固定肘は、座裏面の金具取り付け部に片側ビス3本(ドライバー使用)であとから取り付けることができます。

1)肘無しタイプをご使用の際は、椅子の座裏面の金具に同封のビス(肘当て片側3本)をイス本体へ固定してください。

同じ要領で残りの肘当てを取り付けてください。

確実に固定されているかを確かめてください。

2)肘付きタイプをご使用の際は、肘当て下部のイス本体と固定されているビスを3か所ゆるめ取り外してください。新しい肘当てを取り付けの際は、1)と同様の手順で作業を行ってください。

アジャストアームの取付交換方法

アジャストアームは、座裏面の金具取り付け部に片側ビス3本(ドライバー使用)であとから取り付けることができます。

1)肘無しタイプをご使用の際は、椅子の座裏面の金具に同封のビス(肘当て片側3本)をイス本体へ固定してください。

同じ要領で残りの肘当てを取り付けてください。

確実に固定されているかを確かめてください。

2)肘付きタイプをご使用の際は、肘当て下部のイス本体と固定されているビスを3か所ゆるめ取り外してください。新しい肘当てを取り付けの際は、1)と同様の手順で作業を行ってください。

ハンガー(オプション)の取付交換方法

1)ハンガーの取り付け方

椅子の背に付いているついているネームプレートを取り外します。(図1)(ネームプレート左右どちらかの隙間にマイナスドライバー等を差込んで外してください)同封のビス(2本)でハンガー本体を椅子の背に固定し、先程外したネームプレートをハンガー本体に取り付けてください。(図2)

*確実に固定されているかを確かめてください。

2)ハンガーのはずし方

ハンガー本体についているネームプレートを取り外します。(ネームプレート左右どちらかの隙間にマイナスドライバー等を差込んで外してください)ビスを2本ゆるめて取り外してください。(図2)椅子の背に先程外したネームプレートを取り付けます。

■主な材質

部 位	適用製品	主 な 材 質
構造部材	背・座シェル	ポリプロピレン樹脂(PP)
	背・座インナーシェル	再生ポリプロピレン樹脂(PP)100%
	背・座フレーム	スチール
	脚本体	ポリアミド樹脂(PA)
	肘	CK4□□□ ポリプロピレン樹脂(PP)
		CK9□□□ ポリウレタン(PUR) ポリアミド樹脂(PA) ポリプロピレン樹脂(PP) ポリアセタール樹脂(POM) スチール
張り材	背・座	布(再生PET60%、ポリエステル40%)
クッション材	背・座	モールドウレタン

プラスチック部品には、資源の分別回収を容易にすることを目的として、材質表示が施されています。

■保証の明細

1)保証項目

保証期間は、社団法人 日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに基づき、ご購入の日から下記の年限とさせていただきます。

1年保証	外観表面仕上げ	塗装・樹脂部の変・褪色、レザー・クロスの摩耗
2年保証	機構部・可動部	引出し・スライド機構 庫の開閉、錠前 昇降機構等の故障
3年保証	構造部材	強度・構造体に係わる破損

1 保証期間経過後の修理は有料にて承ります。

2 保証期間内でも、次の場合は有料となります。

・火災、天災による損傷の場合。

・使用上の誤りや改造など使用者の責任に帰すると認められた場合。

3 保証は、通常のお手入れやメンテナンスが行われていることが前提となります。

2)修理用部品の保有期間について

●製品の製造中止後5年間とさせていただきます。

■不要製品の引き取りについて(有料)

不要になった本製品などのお引き取りをご希望の場合は、適正な処理を行う廃棄物運搬業者と廃棄物処理業者をご紹介します、有料にて承っています。弊社担当窓口までご連絡ください。また、お客様にて廃棄処分する場合は、リサイクルへの配慮と、環境への影響を最小限に抑える工夫をしていただきますようお願いいたします。

よい品は結局おトクです

株式会社 岡村製作所 オフィス製品部

ホームページアドレス <http://www.okamura.co.jp/>

お問い合わせ・ご相談は〇お客様サービスセンターへ

フリーダイヤル ☎0120-81-9060 月曜 - 金曜(祝祭日を除く) 9:00 ~ 18:00

■アフターサービスについて(有料)

保証期間終了後も修理により、機能が維持できる場合は、有料にて修理を承っています。

・修理は製品の製造中止後10年間とさせていただきます。

・修理に必要な期間などは、修理の内容により違いがあります。

アフターサービスについては下記へお問い合わせください。

(株)オカムラ サポートアンドサービス [フリーダイヤル ☎0120-448-105](tel:0120-448-105)

「メンテナンス(保守・補修)」と「修理」の違いについて

・「メンテナンス(保守・補修)」.....長期使用を目的として、製品の性能を維持する処置

・「修理」.....その製品が本来備えている性能を発揮できない場合に、もとの性能に戻す処置

R100

このカテゴリーは古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK

環境に配慮した大豆油インキを使用しています。

G92907
2004-10